

EBSトラクタ（使用過程車）とEBSトレーラ（新車）の連結時に発生するEBS不具合の対応について

使用過程車のトラクタ(主に排ガス記号 LKG QKG)と新車のEBS装着トレーラを連結した時、トラクタの「トレーラABS警告灯」が点灯する不具合が多発しています。下記に原因と対策を記述しますので対応してください。

1. 不具合状況

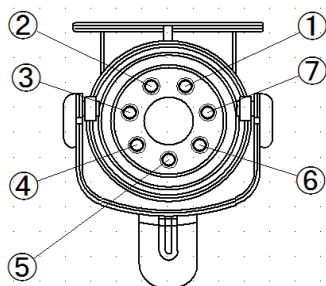
ABS仕様のトレーラと連結していたEBS装着トラクタが新車のEBS仕様トレーラと連結すると不具合が多発しています。トレーラのスマートボードで故障診断をすると故障コードは下記が表示されます。

故障コード	故障内容
220-09	データ接続 トラクタ/トレーラ 信号の故障
220-14	データ接続 トラクタ/トレーラ 特別なエラー

これはトレーラモジュレータがトラクタよりのデータ受信エラーを検出したことを示します。

2. 原因

・トラクタ側EBSカプラとトレーラ側カプラの使用状況を下記に示します。(○:使用 ×:未使用)



トラクタ側カプラ

ピン番号	用途	トレーラ		
		トラクタ EBS	ABS	EBS
①	(+) 主電源 (モジュレータ電源)	○	○	○
②	(+) IG電源 (ECU電源)	○	○	○
③	(-) IG電源 (ECU電源)	○	○	○
④	(-) 主電源 (モジュレータ電源)	○	○	○
⑤	(+) 警告灯 (トレーラABSランプ)	○	○	○
⑥	(HI) CAN (ブレーキ信号)	○	×	○
⑦	(LO) CAN (ブレーキ信号)	○	×	○

- ・長期間、ABS仕様のトレーラと連結していたトラクタのカプラは未使用であったピン⑥⑦(CAN ブレーキ信号)には錆、汚れ、腐食、ゴミの付着などが発生しています。
- ・このままEBS仕様のトレーラと連結すると、ピン⑥⑦が正常に接続されず、電氣的雑音、出力低下などによりCAN通信エラーが発生します。

3. 対策

- ・EBS仕様トレーラと連結する前にトラクタのEBSカプラを点検し、ピン⑥⑦の錆、汚れ、ゴミの付着などを除去して、接点復活剤などを使用して正常な接続ができるように整備してください。
- ・ピン⑥⑦の腐食などが顕著で整備では対応できない場合はトラクタ側EBSカプラを交換してください。

以上

日本トレクス株式会社

サービス部サービス課

承認	審査	担当
河内	中島	岡田